

政務活動報告書

令和6年9月17日

〔会派名： 公明党 〕

代表者氏名	富田 真由美	記録者氏名	富田 真由美
視察者氏名	富田 真由美		
活動日	令和6年7月24日（水）		
活動先	大阪駅前第4ビル23階		
活動目的	地方議員研究会 人口減少対策・地方創生特別研修		
概要 テーマ 人口減少に対応する方策 (14:00～16:30) 講師 関東学院大学法学部 地域創生学科教授 牧瀬 稔氏 法政大学大学院博士課程修了。民間シンクタンク、横須賀市役所（横須賀市都市政策研究所）、（公財）日本都市センター研究室（総務省所管）（一財）地域開発研究所（国交省所管）を経て、関東学院大学法学部地域創生学科教授。 北上市、東大和市、新宿区、焼津市、西条市などの政策アドバイザーとして関わっている。 審議会等では、相模原市緑区区民会議委員（会長）、逗子市民参加制度審査会委員（会長） 相模原市シビックプライドの推進に関する検討委員会（会長）、子ども家庭庁自治体こども計画に関する調査に係る有識者などの委員に就いている。 講義の内容 ・コンパクトシティについて コンパクトシティの定義や、コンパクトシティの先進事例、課題 ・近年の地方創生 総合戦略の基本的な考え方 共創の地方創生を実現する手段がシビックプライド・公民連携 シビックプライドに価値を見出す自治体の事例 ・人口の減少と共存した事例 人口減少化における「定住人口の維持」を目指すケース等 名張市も昨年からシティプロモーションを推進するために条例を策定し、まちのキャッチフレーズを作り取組んでいる、この名張プライドを更に育み名張のファンを増やし、市や地域への誇りや愛着を醸成するために何ができるのか考えていきたい。 相模原市では市内外にインターネット上でファンサイトを開設している、研究していきたい。 ・説明資料は別途添付			

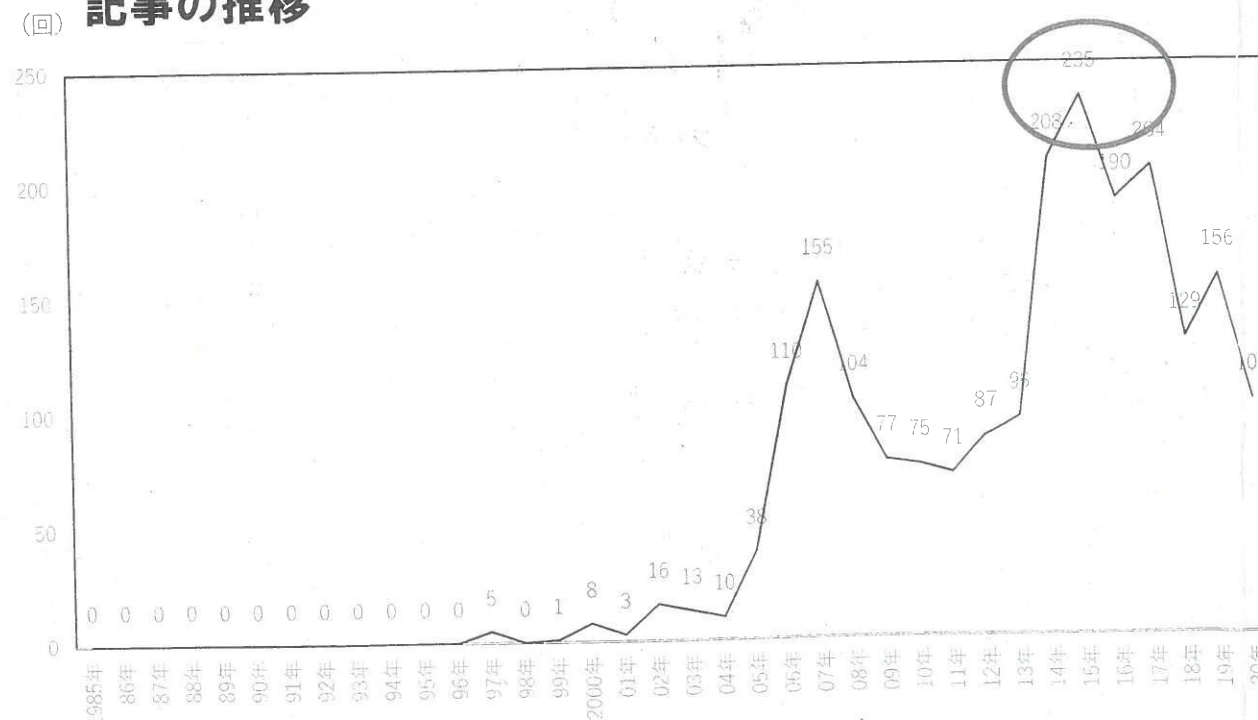


コンパクトシティの先進事例

- 1990年代の記事は、青森市のコンパクトシティが多い。
- 2000年代半ば以降は、富山市の記事が多くなっている。
- 同市のコンパクトシティは、2006年に開業した富山ライトレール(LRT)が大きく関係している。
- 同市は地域の拠点(お団子)を公共交通(串)でつなぐ「串と団子のまちづくり」を目指してきた。これが富山市のコンパクトシティである。

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

主要4紙における「コンパクトシティ」の記事の推移

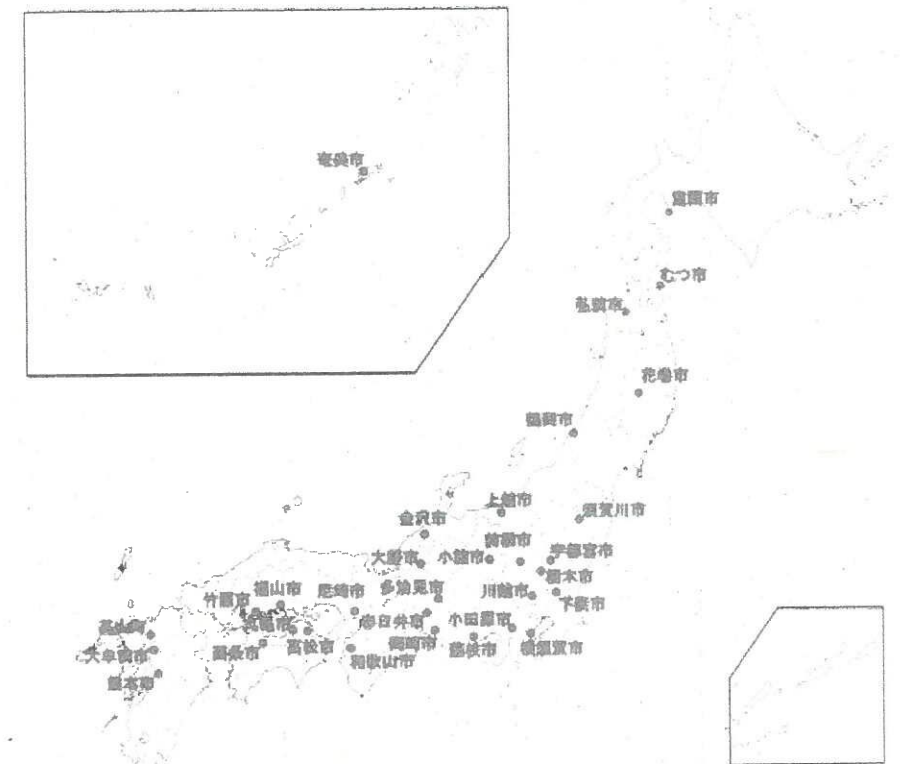


注) 主要4紙とは、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞である。新聞・雑誌記事横断検索を活用した。完全にすべての記事を把握できているわけではない。傾向をつかむという意味がある。
資料) @niftyの新聞・雑誌記事横断検索 (<https://business.nifty.com/gsh/RXCN/>) から筆者作成

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

地方再生コンパクトシティのモデル都市(32都市)

ブロック	都道府県	市町	人口
北海道・東北	北海道	室蘭市	88,585
	青森県	弘前市	177,549
	岩手県	むつ市	58,505
	山形県	花巻市	97,771
	福島県	鶴岡市	129,630
関東	福島県	須賀川市	77,458
	茨城県	下妻市	43,334
	栃木県	宇都宮市	518,761
	栃木県	栃木市	159,267
	群馬県	前橋市	336,199
	埼玉県	川越市	350,327
北陸	新潟県	新潟市	406,686
	新潟県	小田原市	194,174
	長野県	小諸市	42,535
中部	新潟県	上越市	197,026
	石川県	金沢市	465,810
	岐阜県	多治見市	110,455
近畿	静岡県	静岡市	143,656
	愛知県	岡崎市	381,031
	愛知県	春日井市	306,599
近畿	福井県	大野市	33,128
	兵庫県	尼崎市	452,571
	和歌山県	和歌山市	354,285
中国	広島県	竹原市	26,440
	広島県	福山市	165,094
	広島県	高松市	429,943
四国	香川県	丸亀市	119,063
	愛媛県	西条市	108,244
	徳島県	大牟田市	117,413
九州	佐賀県	基山町	17,494
	熊本県	熊本市	741,115
	鹿児島県	奄美市	43,184



Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

コンパクトシティの課題

- コンパクトシティから外れた住民をどうするかという議論がある。
- コンパクトシティを実現するには、数十年の期間がかかる(議員の任期中には実現できない)。
- コンパクトシティを実現するには、行政の継続性が前提となる。
- 行政の継続性のためには、首長の多選か、条例化が必要となる。
- コンパクトシティを評価する意見もあるため、今回は問題提起として紹介した。

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

シビックプライドに価値を見出す自治体

- 草津市では、市政運営の最上位の計画である「第5次草津市総合計画」において、『出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち草津』を将来に描くまちの姿とし、草津市民であることに対する誇りや愛着である「ふるさと草津の心」(シビック・プライド)を醸成していくことを目指しています。
- シティプロモーションといえば、行政がプロモーション・広告のための資金を投入し、一方的に単一的な情報を発信するものが主流です。朝来市のシティプロモーションでは、まず、朝来市で暮らす市民一人ひとりのまちへの愛着や誇り、主体的にまちに関わろうという前向きな気持ち「シビックプライド」を育み、市民と一緒に、朝来らしさや朝来にしかない多様な魅力を、届けたい人に届けるシティプロモーションをめざしています。

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

シビックプライドに価値を見出す自治体

- 羽村市(東京都)の「羽村市シティプロモーション基本方針」には「若い子育て世帯の定住人口の増加につなげていくため、「ブランド化の推進」「戦略的・継続的な情報発信」「シビックプライドの醸成」の3つを、各施策に取り入れ推進していく」と明記している。
- 那須塩原市(栃木県)の「那須塩原市シティプロモーション指針」にも、シビックプライドの言及がある。同指針は「シティプロモーションを推進するためには、「市民」が住んでいるまちに対して「誇り」や「愛着」をもって「推奨」すること、自分もこのまちの一員であるという認識をもって地域活動などに参画する「シビックプライド」の醸成が重要であると考えます」と明記している。

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

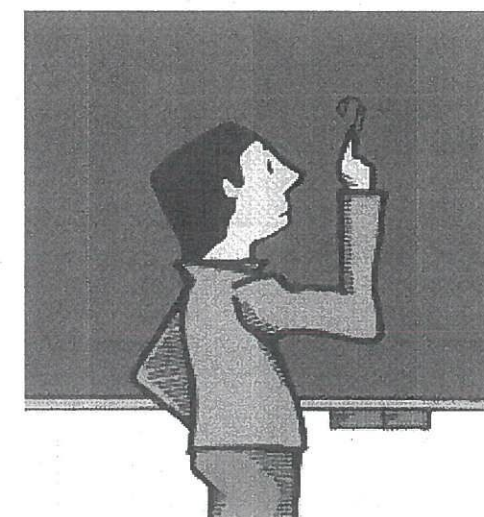
自治体のシビックプライドへの期待

人口減少下における
「定住人口の維持」を
目指すケースが多い

Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

37

シビックプライドの実践



Copyright Minoru Makise. All Rights Reserved

シビックプライドランキング

順位	総合	愛着	誇り	共感	継続居住意欲	他者推奨意向
2020年調査						
2018年調査	149位	150位	150位	142位	140位	141位

資料)読売広告社

北上市の事例

- 北上市のシティプロモーションのキーワードは「まち育て」である。まち育てにより醸成した愛着や誇りを魅力ある都市形成に繋げていくことを目指している。
- 北上市は「まち育てによる地域の誇りの醸成」を掲げている。
- 同市のシビックプライドとは「地域の『誇り』」と捉えている。その誇りは、市民や北上市に関係する人達が身近な地域資源を発見し、守り育て、発信する活動(まち育て)を通じて醸成されるとしている。

【問3】

ファンマーケティング

- シビックプライドは「ファンづくり」につながる。シビックプライドはファンマーケティングに通じる部分がある。
- 民間企業では「ファンマーケティング」(リレーションシップ・マーケティング)に力を入れている。
- ファンマーケティングとは、ファンづくりを目指すマーケティング戦略である。
- 企業と顧客との間に強固な関係性を築くことにより、企業に多くのメリットをもたらす。

リレーションシップ マーケティングとは、企業と顧客との良好な関係づくりを通じて、企業と顧客の距離を縮めていくマーケティング手法を指す。

ファンマーケティング

- 相模原市の良いこと(強み)を市民が知ることにより、市に対する愛着や誇りが芽生える。
- 認知した市の良さを他者に伝えたいくなる。これは「ウィンザー効果」(ロコミ効果)である。
- 市民が相模原市の良い点を知ることが転出抑制効果につながる。
- 進学等で流出しても、Uターンの可能性は高くなる(そのためには転出後も「つながる」仕組みが必要である)。

ウィンザー効果(Windsor Effect)の定義は「第三者(他者)を介した情報、噂話のほうが、当事者が直接伝えるよりも影響が大きくなる心理効果」になる。